

奇跡の人 (1962)

THE MIRACLE WORKER

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 106分
初公開日 1963/10/26
公開情報 東和
映倫 G
リバイバル 1972/11 [東和]

【キャッチコピー】

あなたに勇気を！喜びを！ 永遠の名作がよびおこすこの感動！
生きることはこんなにも素晴らしい！ いのちの底からわき上がるよろこび！ アカデミー演技賞に輝く 2女優の名演と新しい アメリカ映画を生んだ 名監督が世界中を感動の るつぽにたたきこんだ！

【解説】

三重苦の困難を乗り越え社会福祉に身を捧げた偉人ヘレン・ケラーの物語をW・ギブソンが戯曲化した舞台劇の映画版。演出は舞台版同様にA・ペン（劇場監督第2作）、ヘレン役のP・デューク、サリヴァン先生役のA・バンククロフトも舞台版と同じキャストिंगである。生後19ヶ月で、熱病により目が見えず、耳も聞こえず、言葉も喋れなくなってしまったヘレン。両親の献身的な行動にも関わらず、ヘレンを受け容れてくれる学校はなかった。そんな時、自身も盲目を克服した女教師アニー・サリヴァンが一家の前に現れる。サリヴァンは、文明から隔絶してしまったかのような7歳の少女ヘレンに、彼女を取り巻く世界を認識させようと必死に努力を重ねていく…。大ヒットした舞台劇という下地があるだけに、その映画版がややもすると単なるヴァージョン・アップとなりそうだが、ペンは開巻から映画ならではの手法を取り入れ貪欲に“映画”という形態にこだわっている。バンククロフト、デューク共に壮絶な演技を見せ、アカデミーの主演・助演女優賞に輝いたのも無理はない。ここでヘレンを演じたデュークが、後年のリメイク版「奇跡の人」（79）ではサリヴァンに扮するのも感慨深い。

【クレジット】

監督	アーサー・ペン	Arthur Penn	
製作	フレッド・コー	Fred Coe	
原作	ウィリアム・ギブソン	William Gibson	
脚本	ウィリアム・ギブソン	William Gibson	
撮影	アーネスト・カパロス	Ernesto Caparros	
音楽	ローレンス・ローゼンタール	Laurence Rosenthal	
出演	アン・バンククロフト	Anne Bancroft	アニー・サリヴァン
	パティ・デューク	Patty Duke	ヘレン・ケラー
	ヴィクター・ジョリイ	Victor Jory	
	インガー・スヴェンソン	Inga Swenson	
	アンドリュー・プライン	Andrew Prine	
	ビア・リチャーズ	Beah Richards	(クレジットなし)